

和歌山城公園への名称変更について

(和歌山市都市公園条例の一部改正について)

背景

和歌山公園は、明治34年に和歌山城地に開園し、昭和23年に特殊公園として都市計画決定された公園で、以来、多くの市民に親しまれてきました。

昭和33年に現在の天守閣が再建されてから昨年で60周年、今年は「紀州徳川家400年」という節目を迎えています。

本年度にインターネットモニター制度を活用し、和歌山城公園に名称を変更することについてアンケート調査を行ったところ、賛成・どちらかといえば賛成の合計は85.3パーセントでした。

概要

公園名に「城」を明示することにより、市の重要な文化資源、観光資源である和歌山城をより一層広く周知するため、「和歌山城公園」と名称変更します。

※その他の変更について

- ・ 和歌山公園駐車場 → 和歌山城公園駐車場への変更
- ・ 和歌山公園売店 → 和歌山城公園売店への変更



和歌山城天守閣



平成**31**年度
予算と主要事業の概要

和歌山市

平成31年2月12日

「きらり輝く 元気 和歌山市」平成31年度の取組の方向性

平成31年度は、本市の発展に向けて、これまでの取組を着実に進めつつ、まちづくり第2ステージに向けた検討を進める1年



2020年

東京オリンピック・
パラリンピック

まちづくり第1ステージ

2021年

- ・国民文化祭
- ・関西ワールド
マスタースゲームズ

まちづくり第2ステージ

2025年
大阪・関西万博

世界から注目される
関西の
中枢中核都市へ



次のステージに向けた準備

「総合戦略（2015-2019）の検証」 「次期総合戦略に向けた検討」

先端技術の導入や持続可能なまちづくりの検討

- ・ Society5.0の実現に向けた取組
- ・ SDGs達成に向けた取組
- ・ 「スーパーシティ」構想の実現に向けた取組



平成31年度予算のポイント

本市の発展にむけて...

すべての人が生涯にわたり
安全・安心に、いきいきと
暮らせるまちを実現

- ・子育て環境の充実
- ・高齢者・障害者福祉の充実
- ・災害対策の強化

実現するまちを、
将来にわたって
持続するための活力を創出

- ・元気な産業の実現
- ・まちの活性化

- ・これまで進めてきた様々な取組により生まれ始めているまちの成長を確固たるものにする
- ・更なる成長に向けた取組を、時代の潮流に乗り遅れることなく進める

平成31年度予算は「**未来の発展につなげる予算**」

4つのまちの実現に向けた取組を推進

① 子供たちがいきいきと育つまち

② 誰もが暮らしやすいまち

③ 働ける・働きたいまち

④ 魅力あふれるまち

経済や住民生活を支える地方の拠点「中枢中核都市」として、
県内全体の人口流出の防波堤となり、人口減少を食い止める役割を果たす

① 子供たちが いきいきと育つまち

1. 未来へつなぐ子育て支援
2. 未来をつかむ力を育む教育

子供に寄り添う体制の充実

相談・支援体制の強化

●こども総合支援センターの充実<新規> 20,011千円 (内示資料No.1)

- ・「子ども家庭総合支援拠点」を設置し、子供を虐待から守る取組を強化
- ・「外国人等の子供への日本語学習支援」「不登校の子供のための適応指導」「里親間の連絡」など従来からの業務も強化
- ・本町小学校跡地に建設中の複合施設へ移転し、施設を拡充、専門職員を増員

こども総合支援センター
子ども支援センター

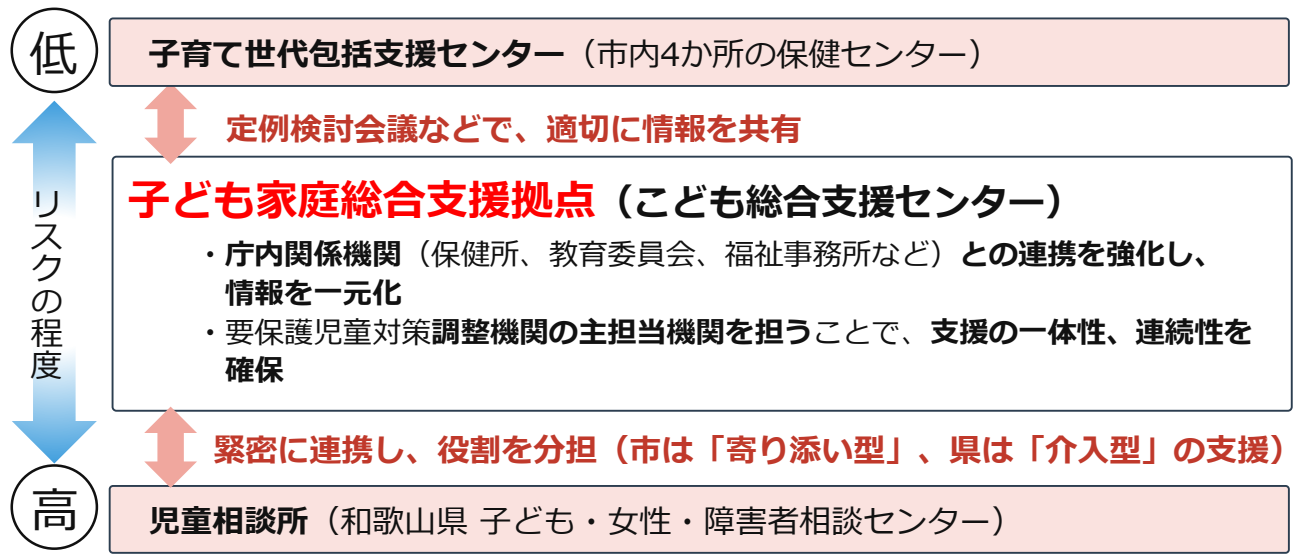
【複合施設】



1,2階部分
(仮称) 本町認定こども園

3,4階部分
こども総合支援センター
3階：相談室、家族療法室 など
4階：適応指導教室、
個別学習室、心理検査室、
調理実習室、プレイルーム など

【子供を虐待から守る取組の強化】



発達相談等の充実

●発達相談・乳幼児健康診査の充実<拡充> 47,289千円 (内示資料No.2)

地域保健課

- ・4か月、10か月、1歳6か月、3歳児等の健康診査と発達面での相談を実施
- ・発達障害の早期発見と円滑に就学につなげるため、5歳児相談事業において、新たに私立保育所での面談を実施



保育環境の充実



施設の充実

● 公立認定こども園の整備

- **(仮称) 本町認定こども園 <拡充> 913,104千円** (内示資料No.3)

(予算額は複合施設の建設費)

「障害児への特別支援教育・特別保育」に注力するとともに、
発達に不安を抱える子供たちが安心して過ごせる園とする

子育て支援課
保育こども園課



(仮称) 本町認定こども園

- **(仮称) 芦原認定こども園 <拡充> 553,931千円** (内示資料No.3)

「一時預かり室」や「子育て支援室」を確保し、
在園児以外にも広く活用できる地域に開かれた園とする

子育て支援
保育こども園課



(仮称) 芦原認定こども園

- **既存保育所等の交流拠点化 <新規>**

認定こども園化により閉園となる保育所等について、
子供から高齢者まで幅広く使える交流拠点などの活用方法を検討

保育こども園課
教育政策課
管財課



経済的負担の軽減

- **幼児教育・保育の無償化 <拡充> 584,873千円** (内示資料No.4)

(2019年10月から実施)

<対象者>

3～5歳児：全ての世帯

0～2歳児：住民税非課税世帯

<対象となる施設>

保育所、幼稚園、認定こども園、

認可外保育施設等（一時預かり事業、病児保育事業、
ファミリー・サポート・センター事業を含む。）

保育こども園課
教育政策課



待機児童ゼロへの取組



保育所の整備

● 私立認定こども園（3園）の整備支援

＜継続＞ 412,366千円

子育て支援課

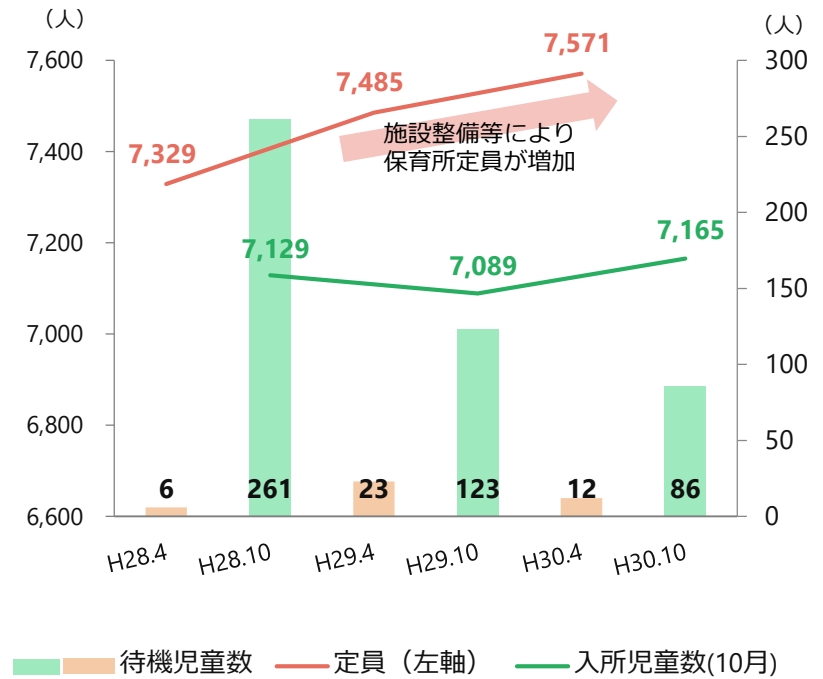
松江、川永、和佐の3地区において、
待機児童の解消を図る定員見直しを含めた
施設整備を推進し、良質な幼児教育・保育を確保

● 公立認定こども園の整備（再掲）

子育て支援課
保育こども園課

- ・（仮称）本町認定こども園＜拡充＞ 913,104千円（内示資料No.3）
- ・（仮称）芦原認定こども園＜拡充＞ 553,931千円（内示資料No.3）

保育所定員と入所児童数



学童保育の整備

● 若竹学級の充実＜拡充＞ 135,778千円（内示資料No.5）

青少年課

新たに10教室（宮、名草、木本、楠見、岡崎、
山口、和佐、安原、太田、野崎西）を整備すると
ともに、専用施設（岡崎）を新設



待機児童ゼロ

子育て交流施設の充実

様々な世代間での交流促進

●南海和歌山市駅に新たな子育て拠点を整備<継続> 3,913千円 子育て支援課

2019年度開館予定のキッズスペースや屋上広場などを備えた新市民図書館内に地域子育て支援拠点を設けることで、子供・親子・三世代で楽しめる空間を整備



交流の場



情報提供



子供図書館



屋上広場



子育て相談



育児講座

地域子育て支援拠点機能

地域との交流促進

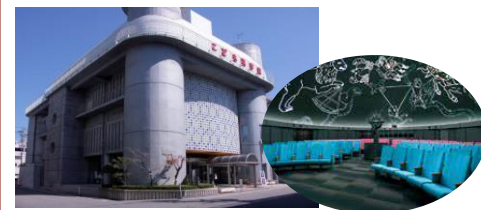
●子供の居場所づくりへの支援<継続> 子育て支援課 生涯学習課

「子供食堂」の運営の負担軽減となるよう、以下の支援を実施

- ・各コミュニティセンターにおける場所の提供
- ・個々の子供食堂の運営に必要な情報をホームページ等で周知



新市民図書館周辺の
子供が学べるスポット



こども科学館

(3/2 プラネタリウムが
リニューアルオープン)



防災学習センター



子供の成長を支える環境づくり

学校・地域・家庭の連携・協働

● コミュニティ・スクールの推進<拡充> 937千円 (内示資料No.7) 学校教育課

- ・ 全ての市立学校へのコミュニティ・スクール導入の完了
- ・ 導入3年目の学校による実践発表会を通じ、各校の具体的取組につなげる

2017, 18年度 : 53校
2019年度 : 16校



市立学校**全69校**
への設置完了予定

地域とともにある
学校づくりを推進

● 家庭教育の支援<拡充> 1,368千円 (内示資料No.8) 生涯学習課・学校教育課

・ 家庭教育支援サポーターの養成

身近な地域で、保護者が家庭教育に関する学習や相談ができ、必要な人に必要な支援が届くよう「家庭教育支援サポーター」を養成

- ・ 家庭教育支援に関する実施計画の策定
- ・ 親になるための学びの体験として、**中学校等で「赤ちゃん教室」を実施**

経済的負担を軽減し教育の機会均等を図る

● 就学援助の充実<拡充> 183,997千円 (内示資料No.6) 学校教育課

- ・ 学用品費等の支給額を現在の**国基準まで一気に引き上げ**
- ・ 中学校と同様、小学校も「新入学学用品費」の支給を**入学前に前倒し**



「知・徳・体」を育む



新学習指導要領の円滑な実施に向けた取組



<2019年度から新たに取り組む教育>

学校教育課

- 外国語活動**（授業時間の拡大） ※小学校5,6年生 2020年度から教科化
小学校3,4年生：15H→**35H** 小学校5,6年生：35H→**70H**
- 道徳科** 中学校：**特別教科化**（小学校は2018年度～）
- プログラミング教育**（必修化に向けて**全公立学校での先行実施**）
※小学校は2020年度から、中学校は2021年度から必修化



児童生徒の学力向上

●基礎学習の充実<継続>

学校教育課

授業前、授業後等の15分程度で基礎学習カリキュラムを実施

●放課後フォローアップ<継続> 4,620千円

学校教育課

放課後に教員と指導員が連携して補充学習を実施（小学校）



教員の指導力向上

●学び合いの授業づくり<継続> 613千円

教育研究所

主体的、対話的で深い学びの実現を目指した授業改善を実施（中学校）

●情報教育研修の充実<継続> 1,194千円

教育研究所

ICTを活用した授業づくり、プログラミング学習の研修を充実



読書の推進

●新市民図書館を拠点とした学校図書室の支援<新規>

市民図書館

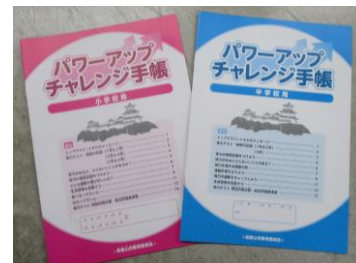
新市民図書館において支援体制を構築し、各小中学校への定期的な司書の派遣・巡回等を実施

児童生徒の体力向上

●パワーアップチャレンジ手帳の活用<継続> 483千円

学校教育課

児童生徒が自分の体力に関心を持ち、運動習慣の定着を促進



安全・安心・快適な教育環境づくり



● 体育館への空調設置 <新規> 320,091千円 (内示資料No.9) 教育施設課

児童生徒等の熱中症対策や避難所としての機能強化を図るため、空調設置を計画的に推進。

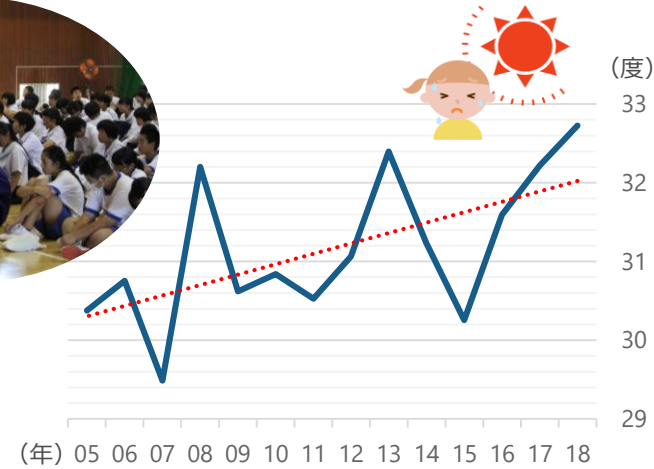
じりじりと上がる真夏の気温

**体育館
空調設置校数**

中学校 0校 → 7校
(H30.5月現在)
※義務教育学校を除く

**特別教室
空調設置室数**

小学校431室 → 532室
中学校181室 → 230室
(H30.5月現在)



※小中校の普通教室はH29年度に**全校設置完了**

災害時の避難所としても活用



● プールの整備 <拡充> 21,281千円 (内示資料No.10) 教育施設課

老朽化したプールを耐震性と浄水機能を有するプールに改築するための設計に着手

災害時の生活用水としても活用



緊急浄水装置



② 誰もが 暮らしやすいまち

1. 生涯にわたる健康福祉の充実
2. 市民の命と暮らしを守る

健康長寿社会の実現



専門的な知識と技能による健康体操

- **WAKAYAMAつれもて健康体操 <継続> 5,972千円** 地域包括支援課
週1回以上、5人以上で運動を考えているグループに対し、**リハビリ専門職を派遣し、活動を支援、サポーター養成講座の実施、説明会・体験会を開催**
- **シニアエクササイズ <継続> 5,232千円** 地域包括支援課
「ねんりんピック紀の国わかやま2019」等で介護予防のPR活動の実施
- **自主活動移行教室 <継続> 9,923千円** 地域包括支援課
自主的に運動を継続できるよう、登録デイサービスセンターや接骨院（整骨院）等で筋力トレーニングなどの支援
- **国保運動教室 <継続> 5,589千円** 国保年金課
メタボや生活習慣病予防のため、健康運動指導士とともに運動の知識や技術を学ぶ



自主的な運動活動

- **自治会による健康づくり、公民館活動 <継続>**
自治会での自主的な運動活動や公民館活動における体操などに対して支援

自治振興課
地域保健課
生涯学習課



スポーツの増進

- **ねんりんピック紀の国わかやま2019開催**
<継続> 70,797千円 スポーツ振興課

2019年11月9日開催

高齢者を中心とする市民の健康保持・増進と生きがいの高揚を図る

<和歌山市で開催される種目>

| | | | |
|---|---|---|---|
|  |  |  |  |
| ゲートボール 紀三井寺公園 | 水泳 秋葉山公園 県民水泳場 | 卓球 武道・体育センター 和歌山ビッグウェーブ | テニス つつしが丘 テニスコート |

生涯安心して暮らせる地域づくり



地域包括支援課・総務企画課

地域包括支援課

●在宅医療・介護連携推進事業<継続> 36,355千円

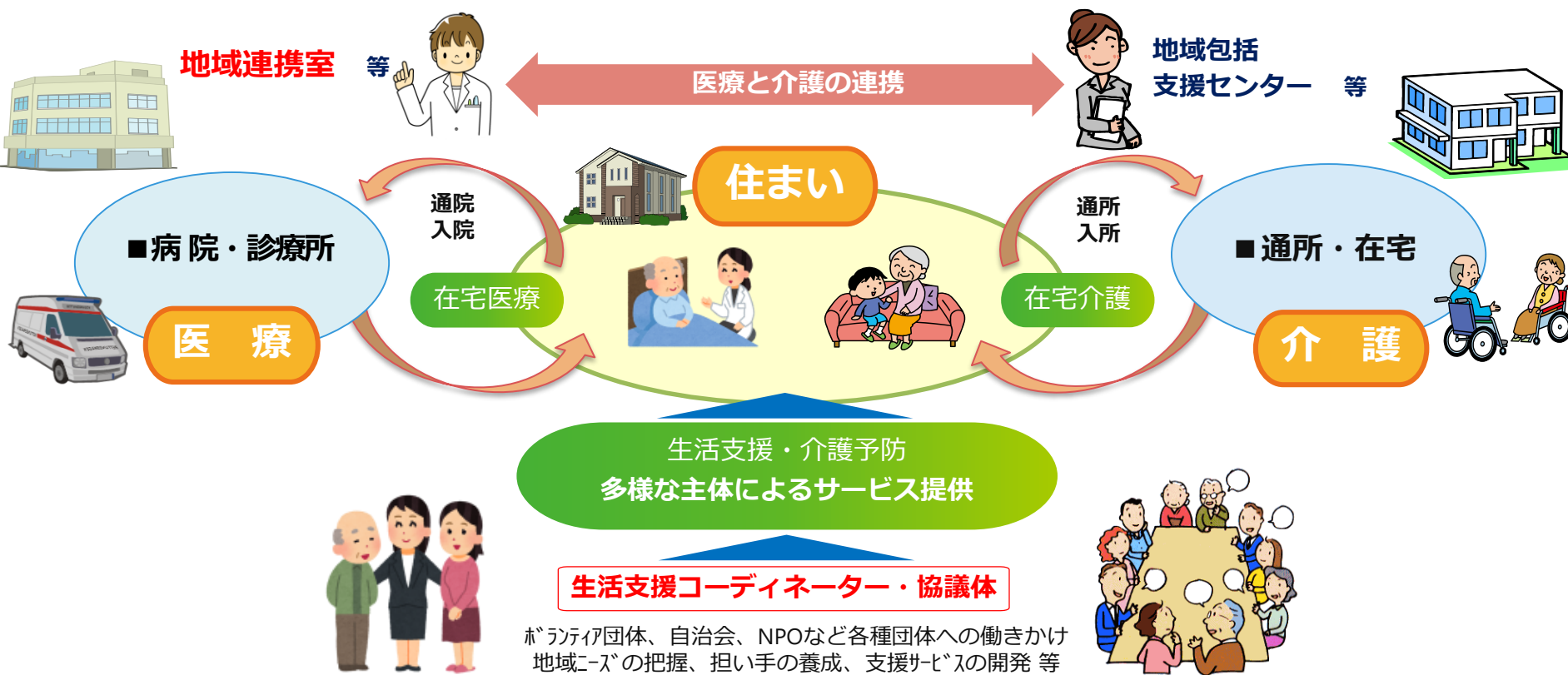
在宅医療・介護の連携による切れ目のない支援体制の充実を図る

●生活支援体制の整備<継続> 45,559千円

市内全15圏域に配置された第2層生活支援コーディネーターが、地域ニーズの把握、担い手の養成・発掘、各種団体間の連携調整を行い、多様な主体による生活支援サービスの提供体制構築を目指す

地域包括ケアシステムの深化

誰もが市内どこでも必要なサービスが受けられる環境

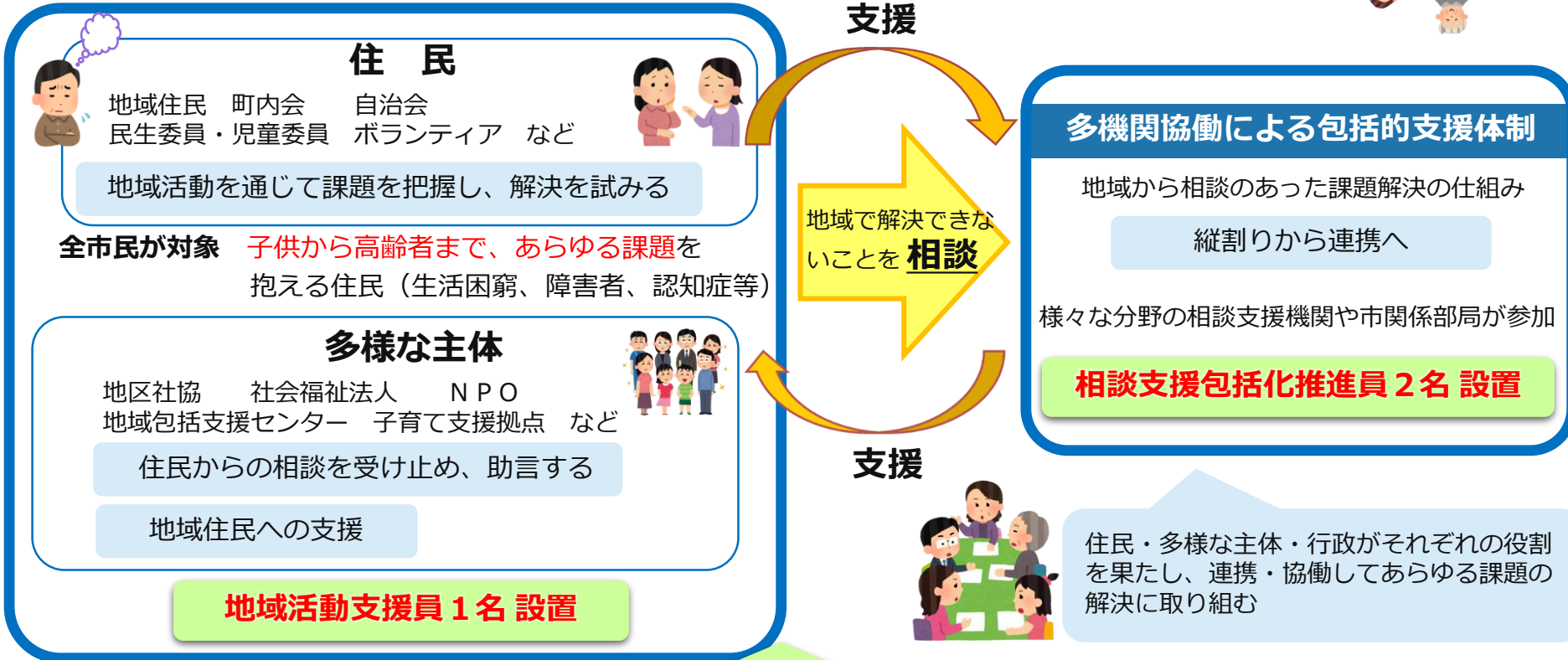


地域共生社会の実現



● 「我が事・丸ごと」の地域づくり<新規> 25,775千円 (内示資料No.11) 高齢者・地域福祉課

他人の困りごとを『我が事』と捉え、地域の課題は地域のなかで解決しようとする地域活動を支援するとともに、地域で解決できないあらゆる課題を分野にこだわらず包括的に『丸ごと』受け止め、解決していく相談体制の構築を支援します。



「我が事・丸ごと」の地域づくりへの行政支援

障害者を支える環境づくり

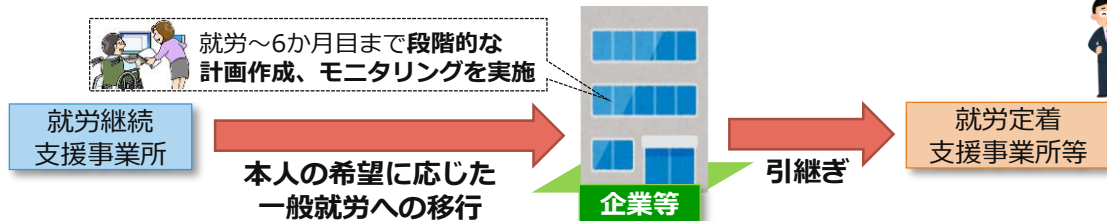


就労支援・定着に向けた支援

障害者支援課

● 障害者の働く場の確保・開拓など就労支援の取組強化<拡充> 1,870千円 (内示資料No.14)

訪問調査員を新たに配置するとともに、障害者就労支援事業所利用者の職場実習推進を図り、実習時間に応じて補助を行うほか、就労継続支援事業所利用者の一般就労の定着を図るための支援を実施



障害者差別解消推進条例に基づく差別解消の推進

障害者支援課

- 障害者差別解消調整委員会の開催<継続> 371千円
- Myコミュニケーションカードの配布<継続>
- 障害の理解・啓発<継続> 517千円
 - ・ 障害者の理解・啓発ポスターコンクールの実施 等
- 要約筆記者等の派遣・養成<継続> 12,179千円



和歌山市障害者差別解消推進条例に基づく調整委員会の審議事項

(H31.2月現在)

- H28年度：6件 (JAZZマラソンへの参加等)
- H29年度：3件 (電車遅延時の危険回避のための声掛け・誘導等)
- H30年度：4件 (医療機関における盲導犬の受け入れ体制等)

施設のバリアフリー化の促進

交通政策課

● JR紀三井寺駅のエレベーター設置等を支援<新規> 7,217千円 (内示資料No.15)

手話言語条例に基づく手話施策の推進

障害者支援課

● 手話施策の推進<拡充> 1,596千円

- ・ 意思疎通支援奉仕員養成講座 (内示資料No.12)
- ・ 市民対象の手話教室 (内示資料No.13)
- ・ どこでも手話電話サービス 等



エレベーター



音声音響案内設備

人と動物が共生できる社会の実現



生活保健課

● (仮称) 動物愛護センターを拠点とした 動物愛護の推進 <拡充> 44,558千円 (内示資料No.16)

- ・ドッグランをはじめとした外構工事の実施
- ・犬猫の譲渡推進や動物愛護教育・思想の普及啓発を実施

2019年秋オープン予定

3つの基本コンセプト

「命の大切さを伝える施設」

- 来館型動物愛護教室の実施
- 譲渡会を開催 (月2~3回)

「人と動物の正しい関わりを学ぶ施設」

- 猫の室内飼育を啓発
- しつけ教室の実施

「動物にやさしい施設」

- 診察室、手術室を設置。簡易な治療や不妊去勢手術が可能に
- ドッグランを整備し、保護動物の健康を促進



完成イメージ



猫の室内飼育モデルルーム

共生できる
社会の実現へ



動物愛護教育・思想の普及と譲渡の促進で「殺処分“ゼロ”」を目指す

便利で持続可能な公共交通の実現



● 交通系ICカードシステムへの支援 <新規> 33,630千円 (内示資料No.17) 交通政策課

バス事業者の交通系ICカードシステム導入を支援し、2020年度からの運用を図る

キャッシュレス化

リピーター増にも寄与

インバウンド対応



70パス対応

高齢者等の外出支援のバスカードも2020年度から運用



(c)Tezuka Productions

関西エアポート等が訪日外国人客を対象に販売する関西統一の交通パス「KANSAI ONE PASS」。ICOCAをベースとし1枚のカードで関西の周遊が可能。



バス車載器 (イメージ)

● 加太地区デマンド型乗合タクシーの運行 <継続> 1,125千円 交通政策課

利用啓発により地域での定着を図りながら、更なる利用者ニーズ等実情に応じた柔軟な運行方式を検討

● 地域バスの導入に向けた検討 <新規> 交通政策課

路線の廃止など交通網が行き届いていない地域に新たな交通手段を検討

● 新交通システム導入可能性調査 <新規> 交通政策課

ネットワークの形成状況を踏まえ、効果的なBRT、LRT等の新交通システムの導入可能性を研究



栃木県宇都宮市・芳賀町のLRT導入イメージ

道路網の整備と長寿命化の推進



● 都市計画道路の整備 <継続> 809,493千円

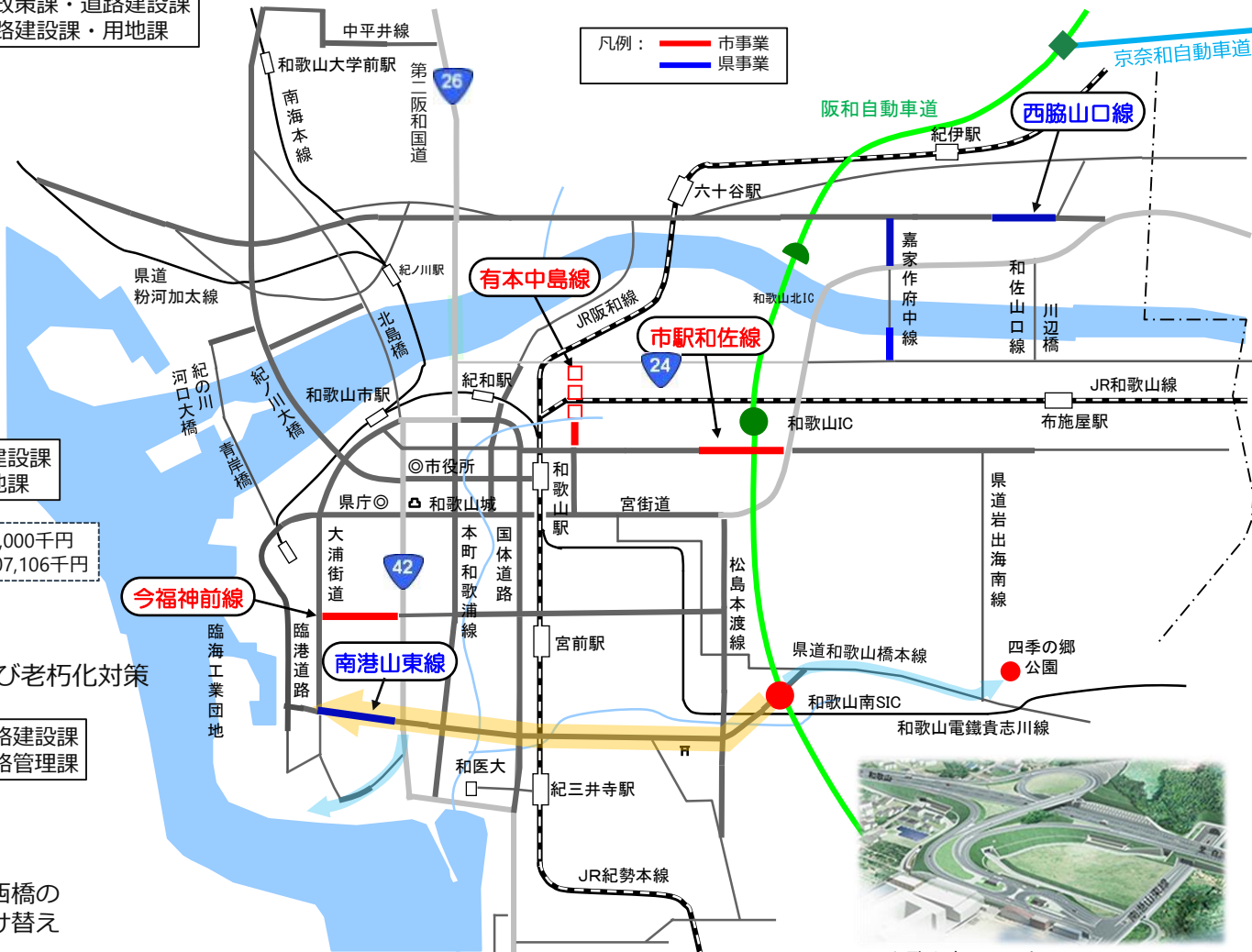


市駅和佐線

道路政策課・道路建設課
街路建設課・用地課

都市計画道路整備網図

凡例：
— 市事業
— 県事業



● 生活道路・通学路の整備 <継続> 504,261千円

松江木本線はじめ新規2路線を含む整備を実施

道路政策課・道路建設課
道路管理課・用地課

● 道路の適正管理 <継続> 2,097,106千円

2月補正：190,000千円
当初：1,907,106千円

- ・ 橋梁の長寿命化・耐震化対策
- ・ トンネル等の道路施設の点検及び老朽化対策



道路建設課
道路管理課

河西橋の架け替え



和歌山南スマートインターチェンジ

治水・内水対策の推進



● 国土強靱化緊急対策への 紀の川の治水・内水対策促進に 向けた取組を強化<新規>

河川港湾課

新六箇井堰の完全撤去など紀の川の
治水対策・内水対策の国への働きかけ



平成29年 台風21号による被害

● 準用河川の改修<継続> 380,723千円

2月補正 : 189,000千円
当初 : 191,723千円

- <前代川> 平成31年度完成を目指し、整備を推進
- <永山川> 用地取得の促進

河川港湾課



前代川の整備イメージ

下水道建設課
下水道施設課

● 公共下水（雨水）整備の推進<継続> 760,074千円

市街化区域の時間雨量50ミリに対応する浸水対策のため、
有功地区等の雨水幹線整備を推進

下水道施設課

● 雨水地下貯留施設の整備<継続> 22,495千円

和田川流域の浸水対策として、
雨水地下貯留施設の平成31年度完成を目指す



松島本渡線の地下に
敷設されている雨水貯留管



ポンプ場の整備イメージ

災害発生時の対策の強化



● 災害時要援護者支援の強化<拡充> 9,846千円 (内示資料No.19) 高齢者・地域福祉課

危険区域の設定など
災害時要援護者管理システムの充実

- ・モデル地区を選定し、支援に対する共通認識を構築
- ・災害種別や地域の実情に応じた避難支援体制づくりを促進
- ・名簿を活用した避難訓練の実施 など



● 防災行政無線の再整備<継続> 357,480千円 総合防災課

防災行政無線は可聴範囲拡大に向け、子局の新設及び更新中

● 和歌山市消防活動センターの整備<継続> 消防総務課

大規模災害時、全国からの消防機関等を受け入れる施設を和歌山南スマートICに隣接した岡崎第2工場跡地に整備

● 災害医療体制の強化<拡充> 3,151千円 (内示資料No.18) 総務企画課

保健所内に設置される保健医療調整本部の非常用通信手段を整備



平成31年度末には整備計画222基のうち、
過半数を超える**144基が完了予定**

● 防災計画のマニュアル等 の策定、見直し<継続>

総合防災課・地域安全課

主な項目

- 避難勧告等の判断・伝達マニュアルの改訂
近年の災害や被害想定見直し等に対応するため、洪水や高潮などの避難情報発令の判断基準を見直し
- 災害対応体制の整備
災害発生時における各部局の行動についての詳細マニュアルを整備
- 避難所運営マニュアル（市民用）の作成支援
地域住民向けの避難所運営のマニュアルを地区ごとで作成

住宅等耐震化の強化



耐震性を有しない住宅への対策

● 未耐震化住宅への全戸・戸別訪問 <継続> 住宅政策課

● 耐震改修等補助 <継続> 143,430千円 住宅政策課

- ・ 耐震改修及び同時に行うリフォーム補助
- ・ 現地建替補助 (最大126.6万円)
- ・ 転居に伴う除却補助 (最大20万円)
- ・ 耐震ベッド・シェルター補助 (最大36.6万円)

道路に面した危険なブロック塀への対策

● ブロック塀の除却等補助 <拡充> 25,800千円 (内示資料No.20)

- ・ 撤去費等への補助 (最大40万円) 住宅政策課

● 公共施設のブロック塀等の改修

・ 保育所等児童福祉施設 <新規> 11,992千円 子育て支援課

・ 幼稚園・学校 <継続> 教育施設課

小学校39校、中学校11校、市立高校1校、幼稚園6園で実施

・ 支所・連絡所 <新規> 6,815千円 自治振興課

・ 今福霊園 <継続> 9,900千円 保険総務課

耐震診断で耐震性が低いと判定された
一定条件を満たす住宅に対し

耐震改修の設計と工事を一体的に支援
補助額は最大**116.6万円**

算定例

設計費20万円+工事費100万円の場合、
補助額**106万6千円** **自己負担13.4万円**

さらに…

耐震改修と同時に行う
リフォーム工事費の1/5を補助 (最大10万円)



通学路に面したブロック塀の所有者等への安全点検の周知のため、チラシのポスティングを実施

空家等の対策の推進



空き家の発生抑制

- **空き家発生の未然防止に向けた啓発活動の充実<拡充>** 空家対策課
 - ・関係課との連携などにより、様々な機会をとらえて、啓発活動を充実

利活用促進

- **耐震改修等補助の周知徹底<継続>** 住宅政策課
 - 居住に係る改修について、耐震等の補助が活用可能なことを周知
- **空き家バンクへの登録促進<継続>** 空家対策課
- **空き家の地域交流拠点化を推進<継続>** 3,000千円 空家対策課

地域交流拠点の整備事例（平成30年度）



地域防災活動、子育て支援活動など多世代交流の場として活用

倒壊の恐れがある危険な空き家への対策強化

- **特定空家等の所有者に対する指導・勧告等の強化<継続>** 空家対策課
- **老朽化した空き家の除却促進<継続>** 24,000千円 空家対策課
 - 不良空家の除却支援（最大60万円）
- **危険な空き家のポケットパーク化<継続>** 7,192千円 空家対策課
 - 平成31年度の完成を目指し、危険な空き家を除却し、跡地をポケットパークとして整備

特定空家等に対する今後の措置の流れ

<空き家実態調査（～H29）>
特定空家等の可能性**141件**

8件

是正1件 勧告7件（H30.6）
→ 勧告後 是正2件
→ 残りはH31 **命令**の手続きへ

133件

再調査の上、特定空家等の認定
→ H31 **勧告**の手続きへ

③ 働ける・ 働きたいまち

1. 地域産業の活性化
2. さらなる観光誘客の促進

産業の振興



市内産業の競争力強化

● 先端設備の導入や新增設を促進

＜拡充＞ 118,675千円 (内示資料No.23)

産業政策課

- ・ 先端設備等導入計画を認定し、設備投資を促すことで生産性向上を支援
- ・ 企業立地促進奨励金制度による企業の設備投資や新增設への支援

先端設備等導入計画の認定

61件 (平成31年1月末現在)

企業立地促進奨励金制度

平成30年度の投下固定資産総額
約 46.7億円 (平成31年1月末現在)



株式会社神戸屋 指定書交付式

● IT・IoT化の促進による生産性向上＜継続＞

産業政策課

IT・IoT化による生産性向上をテーマにしたセミナー&相談会の開催

● キャッシュレス化の促進＜新規＞

商工振興課・観光課

人材不足の解消と生産性向上につなげるためキャッシュレス決済の導入を促す

IT導入事例

予約・会計・顧客管理システム

予約内容の情報が瞬時に共有されることでミスが減少



● 道路網の整備による物流の効率化＜継続＞

道路政策課

- ・ 南港山東線の整備
- ・ (仮称) 京奈和・第二阪和連絡道路の早期事業化を国に働きかけ



和歌山南スマート
インターチェンジ
3月開通予定

企業誘致の推進

産業政策課

多様な職業選択が可能となるよう本市にない業種の企業やIT業などのオフィス系の企業の誘致を推進

● 企業立地促進奨励金制度＜継続＞

オフィス系企業誘致の推進のためエリアを見直し

● 企業立地アドバイザー＜継続＞

- ・ 企業情報の収集体制強化と、分析結果に基づく戦略的な誘致活動の展開
- ・ 抽出優良企業へのアンケート調査と回答者に対するヒアリングの実施
- ・ 企業立地アドバイザー等のネットワークを活用した企業訪問



南港山東線

産業を支える人材の確保

新たな人材の確保

産業政策課・政策調整課・国際交流課・子ども支援センター

●外国人の人材育成・活用・受け入れ態勢の充実<新規>

- ・企業と高等教育機関の連携体制の構築
- ・留学生向けのインターンシップの実施
- ・在住外国人のための、日本語教室や防災講座を開催
- ・外国人の子供向け日本語指導の実施



外国人の活躍の場を広げ、
人材不足を解消

●東京圏からの移住の促進<新規> 19,000千円 (内示資料No.24)

政策調整課・産業政策課・商工振興課

東京23区に5年以上在住又は通勤した方が本市に移住して就業・起業する際の移住支援金を支給



市内就職の促進

●わかやま就職応援プロジェクト<継続> 9,342千円 産業政策課

合同説明会や企業見学会、インターンシップなどを実施

民間人材の活用

●特別顧問制度の創設<新規> 915千円

政策調整課・人事課

専門的な知識・経験に基づき、市の重要な課題に対して政策提案または助力する民間人材の活用を図る

国際戦略の更なる推進



国際交流の推進

国際交流課

- 姉妹都市・友好都市との交流・連携の強化<継続> 15,598千円
これまでの姉妹都市との文化・教育の交流を通じて産業振興の連携へ
- 台湾との交流の推進<拡充> 5,603千円 (内示資料No.25)
- イタリアのアマルフィ市との交流<継続> 2,759千円



青少年の国際交流



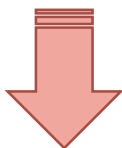
マラソン交流



台湾の紀州庵における物産PR



アマルフィ市長をお迎えしてのシンポジウム



地元産品を海外へ輸出

販路拡大へ展開

- 姉妹都市等での物産観光PR<拡充> 4,559千円 (内示資料No.28) 国際交流課
- 農林水産事業者や中央卸売市場内事業者への
海外販路開拓を支援<拡充> 1,500千円 (内示資料No.26・27) 農林水産課
中央卸売市場



海外見本市の様子

国際交流で培った信頼関係を生かして、
本市の農産物や製品のPRと販路拡大へ

次世代へつなぐ農業への支援



農地の利用促進

農林水産課

- 遊休農地解消を支援 <拡充> 700千円 (内示資料No.29)



市街化区域の農地も対象に

- 市民農園の開設等を支援

農林水産課

<新規> 1,000千円 (内示資料No.30)



生産性の向上

農林水産課

- 野菜等の産地化を推進 <継続> 2,000千円



打ち抜き井戸の設置補助により、水田の裏作等による野菜等の生産拡大を推進

食育、地産地消の推進

- 四季の郷公園における農業体験の実施 <継続>

農林水産課



四季の郷公園のリニューアルにより、農業体験の更なる充実へ

ブルーベリー狩り

稼げる水産業への支援



生産力
強化

- **つくり育て管理する漁業の推進** 農林水産課

＜継続＞ 6,216千円

- **漁場の生産力向上** 農林水産課

＜拡充＞ 35,821千円 (内示資料No.31)

マダイ等の幼稚魚の成育環境の保全・創造を図り、
漁場の生産力を高めるために魚礁及び増殖場を設置



種苗放流



あさりの復活

- **和歌浦湾片男波干潟産** 農林水産課

アサリの復活 ＜継続＞ 3,356千円

- **和歌浦漁港内での地元水産物販売促進**

＜新規＞ 4,000千円 (内示資料No.32) 農林水産課



カキ小屋のイメージ

- **船上販売などの来訪者向けトイレ設置**

＜新規＞ 35,738千円 (内示資料No.33) 農林水産課



海上釣り堀のイメージ



雑賀崎船上販売

- **海上釣り堀の整備支援**

＜新規＞ 2,500千円 (内示資料No.34) 農林水産課

集客力
強化

農・水産物の魅力発信拠点の整備



● 四季の郷公園のリニューアル<新規> 511,770千円

(内示資料No.35) 農林水産課



四季の郷公園整備イメージ

和歌山南スマートIC
開通でより近く

完成予想パース図



2020年4月 味覚ゾーン・道の駅のオープンを目指す!!

- ・ ウッド風建物をレストランに転用
- ・ 農産物直売所等による集客
- ・ バーベキュースペースの新設



● 中央卸売市場の再整備<継続>

中央卸売市場



中央卸売市場整備イメージ (基本計画時)

道の駅はクルーズ船
寄港時の訪問先にも



余剰地を活用して道の駅を整備

- ・ 地域の特産品の販売
- ・ 健康増進施設の整備
- ・ サイクリングロードとの連携による中継拠点



イメージ戦略による観光振興

発信力の強化

観光課

●観光大使、観光発信人による情報発信<継続>



HYDE氏の「ふるさと観光大使」就任



観光大使 辻本茂雄氏による
シゲジンジャーのPR

就任に伴うツイートが大反響！
「#なんて素敵なお和歌山なんでしょう」

観光発信人による
SNS発信を促進



ウインズ平阪氏



川田裕美氏



本谷紗己氏

●HP、SNSを中心とした観光情報発信

観光課

<継続> 19,833千円



国内外へ発信！

おもてなしの充実

観光課・河川港湾課

●クルーズ船に対するおもてなし<新規>

3,859千円 (内示資料No.36)



全長290m
約12万トン
総乗客定員4,347人

<2019年8月16日> 大型クルーズ船
「ダイヤモンド・プリンセス」が初入港予定



歓迎イベント

●ねんりんピック紀の国わかやま2019 来訪者に対するおもてなし<継続>

スポーツ振興課

2019年11月9日開催



無料のふるまい



三二観光ツアー

●タクシーのマナー向上の取組

交通政策課

<新規> 311千円 (内示資料No.37)

JR和歌山駅と南海和歌山市駅のタクシー乗り場を
優良タクシーに限定する取組を推進

誘客と消費拡大による観光振興

観客の推進

- **コンベンションの推進**
 <継続> 27,794千円 観光課

オフシーズンにおける
 宿泊者数のテコ入れを図る



- **ロケの誘致<継続>**
観光課

雑賀崎における
 「THE! 鉄腕! DASH!!」の撮影



消費拡大

- **キャッシュレス決済の導入の促進<新規> (再掲)** 商工振興課・観光課



地方部における外国人旅行者の
 35%が「クレジットカードの
 利用や両替で困った」と回答
 ※観光庁アンケート調査



事業者とのマッチング支援等



業務効率化や顧客ニーズ
 の分析強化にも

- **周遊クーポン券開発の支援<新規> 1,991千円** (内示資料No.38) 観光課

食



観光



交通



体験



市内周遊により、
 滞在時間をさらに長く

日本遺産 和歌の浦・紀三井寺のさらなる魅力向上



● 日本遺産の国内外への魅力発信 <継続> 観光課



● 観光遊歩道の整備 <継続> 100,361千円

2月補正：40,000千円
当初：60,361千円

観光課



● 雑賀崎灯台広場の整備 <継続>

観光課



● 和歌の浦観光遊覧船 <新規> 6,000千円 (内示資料No.40) 観光課

● 道路の美装化 <新規> 10,300千円 (内示資料No.42) 道路政策課

● 無電柱化の促進 <新規> 43,800千円 (内示資料No.41) 道路政策課

● 御手洗池公園・沖見の里公園の整備 <新規> 25,000千円 (内示資料No.43) 公園緑地課

● 文化財の周辺整備 <新規> 22,528千円 (内示資料No.39) 文化振興課

● 古民家を活用したガイダンス施設の整備 <継続> 12,160千円 都市再生課



古民家を活用したガイダンス施設

加太の魅力を生かした交流促進



新たな魅力の創出

●文化芸術活動の推進

文化振興課

＜新規＞ 600千円 (内示資料No.44)

青少年国際交流センターを活用した
文化芸術活動を支援し、文化芸術の振興による活性化を図る



様々な連携を強化

●加太リノベーションまちづくり＜継続＞

南海電鉄と連携して取組を推進

都市再生課

●地域おこし協力隊による

空き家を活用した移住・起業支援

＜新規＞ 3,039千円 (内示資料No.45) 都市再生課



向井家住宅

●東京大学加太分室との連携＜継続＞ 10,000千円

政策調整課

地域の活性化に向け、東京大学と地域、和歌山大学が連携

さらなる魅力の向上

●友ヶ島砲台跡の整備

＜継続＞ 16,821千円 観光課



桜鯛祭り

4

魅力あふれるまち

1. 生まれ変わるまちなか
2. 地域が持つ魅力の向上

学生が行き交うまちづくり



大学誘致の推進

政策調整課

● 和歌山信愛大学教育学部の開学

本町幼稚園の閉園後に行う改修工事を支援
＜継続＞ 51,678千円

● 新たな大学誘致＜継続＞

政策調整課

市民図書館の移転に伴い、専門性の高い
 職種の人材を養成する専門職大学を誘致

学生と地域の交流促進

自治振興課(H31)
 (市民協働推進課(H30))

● 和歌山市地域フロンティアセンター の設置＜新規＞ 18,216千円 (内示資料No.46)



- ・フォルテワジマのNPO・ボランティアサロンに、ミーティング機能や団体間のマッチングなどを強化し、**プラットフォーム機能**を持たせることで、様々な主体が交流する**地域連携拠点**を構築
- ・フォルテワジマ**駐車場30分無料化**など利便性も向上



本市の玄関口 南海和歌山市駅の完成



●市街地再開発事業への支援

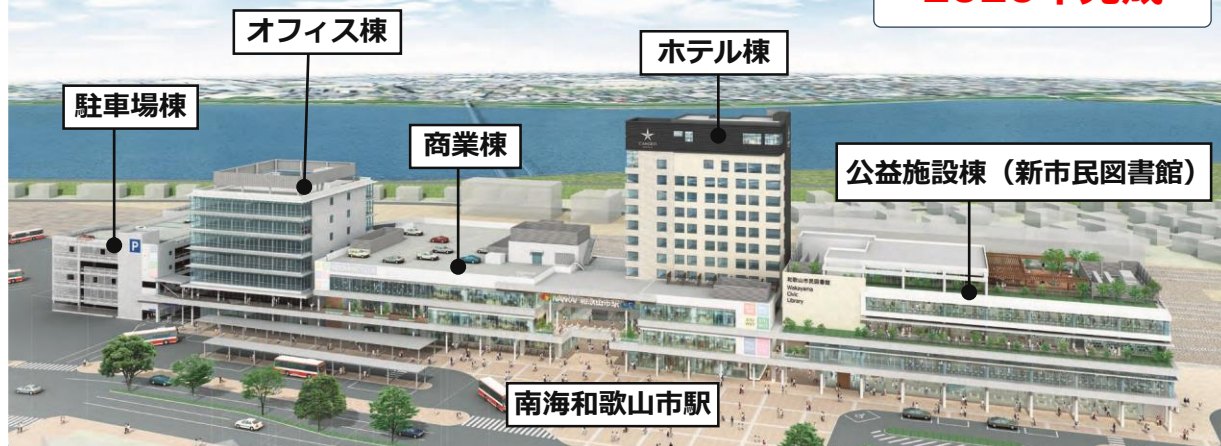
＜継続＞ 3,017,888千円

オフィス棟、駐車場棟に続いて、
公益施設棟、ホテル棟、商業棟
が完成

都市再生課

和歌山市駅前地区第一種市街地再開発事業

2020年完成



●新市民図書館の開館

市民図書館

＜新規＞ 249,722千円 (内示資料No.47)

- ・開館に向けて整備を実施
- ・開館後は図書館機能に加え、まちの賑わい拠点機能を発揮できるよう取組を実施



＜開館時間＞

現在 : 午前10時～午後8時 (平日)
午前10時～午後6時 (土日祝)

開館後 : 午前9時～午後9時

＜休館日＞

現在 : 毎週金曜日、第3水曜日

開館後 : なし (年中無休)

●駅前広場の整備

＜継続＞ 140,000千円

道路建設課

多様な活動等で賑わいを創る
交流空間として整備



夜間景観に配慮し、夜の賑わいも創出

まちなか整備



拠点の整備

●市街地再開発事業への支援

＜継続＞ 1,548,430千円

都市再生課

2020年、民間の市街地再開発事業が完了し、まちなかに新たな賑わいの拠点が誕生

●市民会館 (仮称) 市民文化交流

文化振興課

センターの整備 ＜継続＞ 2,489,228千円



まちなかに「医・商・住」の新たな拠点が誕生



地上20階

- ・住居(98戸)
- ・医療施設
- ・商業施設

友田町四丁目地区

地上13階

- ・住居(38戸)
- ・専門学校
- ・福祉施設
- ・商業施設



北汀丁地区



これから生まれる様々な拠点と相乗効果を発揮する新たな整備を検討

拠点整備から面整備へ

●新たな整備の検討 ＜新規＞ 2,984千円 (内示資料No.48)

都市再生課

・南海和歌山市駅前

・県庁前交差点周辺

(・JR和歌山駅)

徳川御三家 和歌山城のさらなる魅力向上



新たな魅力創出

和歌山城整備企画課

- **扇の芝の整備<拡充> 253,414千円** (内示資料No.49)
庶民の憩いの場となっていた扇の芝の史跡指定範囲を拡張し用地取得を推進
- **大奥・能舞台の復元的整備<拡充> 14,374千円** (内示資料No.50)
藩主とその家族の生活空間であった二の丸大奥と、城内の文化空間であった西の丸能舞台の復元的整備のための基本計画を策定
- **天守閣の整備検討<継続> 500千円**
地震計設置によるデータ収集を実施



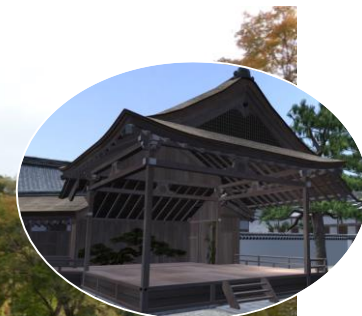
城内の整備・活用

和歌山城整備企画課

- **砂の丸広場トイレ整備<拡充> 30,000千円**
- **公園内の樹木整備計画<継続>**
天守閣等の景観も視野に入れて整備を検討
- **岡公園全体看板等の整備<新規> 1,632千円**



大奥復元的イメージ



能舞台復元的イメージ



魅力発信

- **紀州徳川家400年に向けた取組<新規>** 博物館
・紀州徳川家19代目に当たる徳川宜子氏を招いた講演会等の開催
・特別展を県立博物館と同時開催
- **公園名称の変更<新規>** 「和歌山公園」は「和歌山城公園」へ
名称に“城”を付けることで、市民の愛着造成や訪問者へのPRにつなげる 和歌山城整備企画課



徳川宜子氏

歩いて楽しめる まちなか空間の創出



- **フリンジ駐車場の機能強化<拡充> 467,398千円** (内示資料No.51) まちなみ景観課
まちなか周縁の市営駐車場の整備や料金の一定時間無料化などを実施するとともに、駐輪場の活用を推進
- **(仮称)和歌山城前広場及び市道中橋線の整備<継続> 272,200千円** 道路建設課・管財課
広場と市道中橋線の修景（無電柱化や歩道）整備に着手
- **まちなかの公園の有効活用<拡充> 5,000千円** (内示資料No.51) 公園緑地課
本町公園と京橋親水公園において、Park-PFI制度を活用した民間事業者による整備を実施
- **リノベーションまちづくり<継続> 8,468千円** 都市再生課
まちなかのスポンジ対策として、まちづくりの担い手と遊休不動産の活用・再生を図る

城北駐車場

市道中橋線

京橋親水公園

和歌山城

本町認定こども園等複合施設

和歌山信愛大学

本町公園・地下駐車場

ぶらくり丁

大新公園・地下駐車場

けやき大通り地下駐車場

市駅前再開発市民図書館

(仮称)和歌山市役所北駐車場

中央駐車場

(仮称)和歌山城前広場

医大薬学部

新市民会館

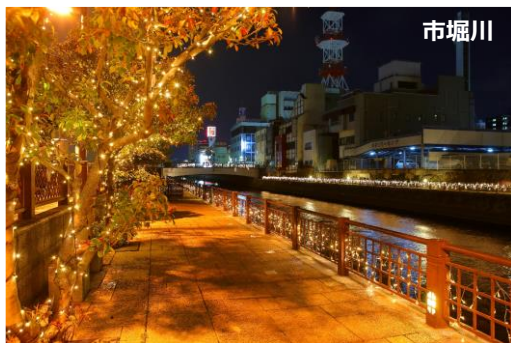
本町公園

大新公園地下駐車場の指定管理者による大新公園イベント

魅力的な夜間景観の形成

● 水辺の夜間景観の創出 <新規> 4,000千円 (内示資料No.52) 政策調整課

市堀川を中心としたまちなかの滞留時間の延長、
回遊性の向上を図る



市堀川の水辺空間



海禅院多宝塔

和歌の浦

● 夜間照明設置への支援 <新規> 500千円 (内示資料No.52) まちなみ景観課

商店等への夜間照明設置を支援



フェスタ・ルーチェ

● 和歌山駅周辺イルミネーション <継続> 6,600千円 商工振興課

JR和歌山駅中央口・東口、わかちか広場、和歌山駅前通商店街、
けやき大通りなどへのイルミネーション設置により一帯の賑わいを創出



JR和歌山駅前

和歌山市の玄関口



南海和歌山市駅前

地域の活動拠点づくり



● (仮称) 杭の瀬児童・

子育て支援課
高齢者・地域福祉課

地区福祉センターの開館<継続> 30,504千円

児童福祉や地域福祉の役割を持った地域交流の拠点となる**複合施設がオープン**



杭の瀬児童・地区福祉センターの開館イメージ

● 南コミュニティセンター

生涯学習課

図書室の開設準備<新規> 8,223千円

2月補正

開設に向けた設計業務に着手

● 砂山・今福地区のまちづくり

<継続> 129,605千円

平成31年度の**完成**を目指し、
公園や道路の整備を推進

都市再生課・公園緑地課
道路建設課・道路管理課



● 平井文化会館・児童館の複合化<継続> 180,083千円

人権同和施策課
子育て支援課
文化振興課
観光課

2021年度のリニューアルに向けて本体工事に着手

平井遺跡や雑賀衆に関する歴史資料室を併設



平井文化会館・児童館の複合化完成イメージ

地域活動の促進



●地域のまちづくり活動の支援<継続> 2,970千円

都市再生課

ワークショップ等の活動を支援

●森林公園への植樹<継続> 429千円

農林水産課

ボランティアによる植樹活動を実施



スポーツを楽しめる環境づくり



運動環境の充実

スポーツ振興課

● つつじが丘テニスコート周辺整備

＜新規＞ 1,327,141千円 (内示資料No.53)

幅広い世代が交流する拠点として、駐車場及び総合公園を整備するため、平成31年度に駐車場用地を取得

スポーツ振興課

● 加太スポーツ公園構想の検討＜継続＞

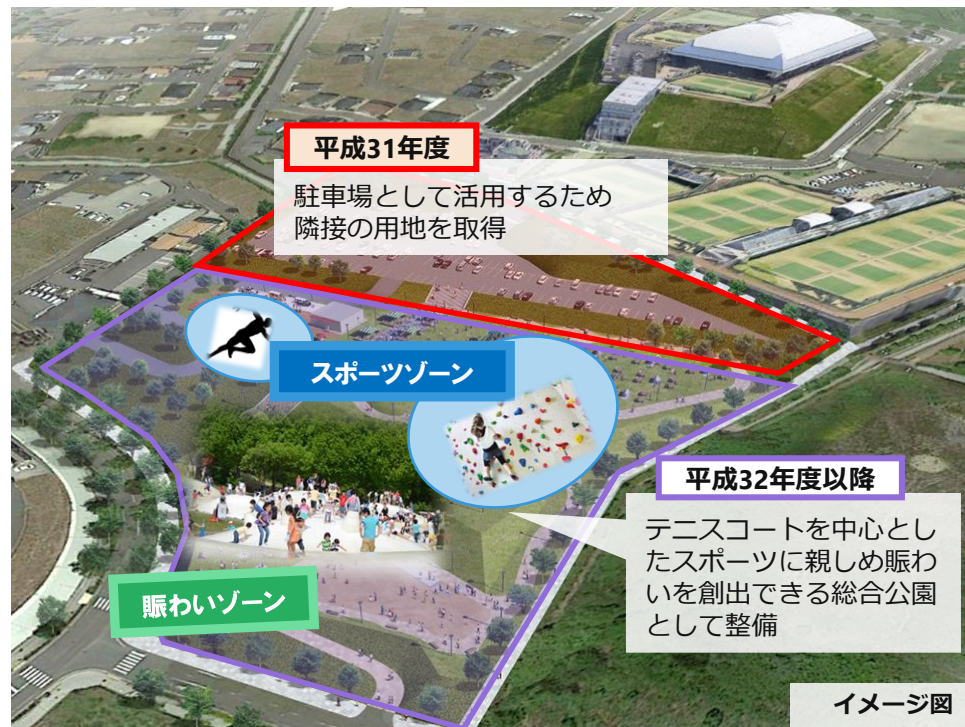
コスモパーク加太において、子供から高齢者まで、あらゆる世代が多目的に活用できるスポーツ公園設置の検討を進める

自転車まちづくり

政策調整課

● 自転車活用の推進＜新規＞ 1,753千円 (内示資料No.54)

- ・ 自転車活用推進計画の策定
- ・ 自転車活用に係る官民・自治体間連携の強化



イメージ図

歴史・文化・芸術で輝くまちづくり



次代へ継承する歴史・文化資産の保全・活用促進

- **熊野古道の活用促進<新規> 1,455千円** (内示資料No.56) 文化振興課
熊野参詣道の世界遺産登録15周年を契機に、市内の熊野古道の環境整備等を実施
- **葛城修験道の活用の推進<継続>** 文化振興課
友ヶ島を起点とする葛城修験道の活用を推進
- **有吉佐和子邸の復元<継続> 11,855千円** 文化振興課
文化の発信と文化的風土の醸成を図るとともに、まちなかの賑わい創出のため、現市民会館前への復元に向けた設計を実施
- **和歌祭400年に向けた支援、PR<継続> 9,999千円** 観光課
1622年に始まった和歌祭の400年に向け、PRの強化等を支援



熊野古道整備イメージ

新たな 価値創造へ



虎島(友ヶ島)に参拝する山伏僧



当時の有吉佐和子邸の様子

東京オリンピック・パラリンピックを通じた魅力発信

- **東京オリパラの事前合宿サポート<拡充> 1,000千円** (内示資料No.55) スポーツ振興課
海外チームの事前合宿誘致を通じたスポーツ振興及び知名度の向上



和歌祭

文化・芸術の振興

- **国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の開催準備<拡充> 1,342千円** (内示資料No.57) 文化振興課
実行委員会の設置、広報活動及び先催市の視察・調査
- **友ヶ島民間活力導入実証実験<新規> 5,000千円** (内示資料No.58) 観光課
国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の開催機運の醸成につながるプレイベントの実施に向け、友ヶ島の活用方法を検証

本市が有する様々な文化・芸術を世界に発信するとともに、文化・芸術を介した交流を創出し、次代へのレガシーを創出



関西の中核中核都市へ

どこでも安心して快適に暮らせる
いつでも、どこからでも世界とつながる
近未来の技術が、地方を、和歌山市を変える

Society5.0



分野間データ連携

スーパーシティ構想

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

SDGs

住みたいまちとして選ばれる関西の中核中核都市、
誰もが笑顔であふれる「きらり輝く 元気和歌山市」の実現を目指します

平成31年度予算の概要



○ 一般会計予算

156,683,030 千円

| 増減率 | 増減額 |
|---------|----------------|
| (+3.5%) | (+5,302,828千円) |
| +3.8% | +5,683,228千円 |

○ 特別会計予算

97,702,770 千円

| 増減率 | 増減額 |
|-------|------------|
| △0.2% | △192,097千円 |

○ 公営企業会計予算

41,150,368 千円

| 増減率 | 増減額 |
|---------|--------------|
| (△2.1%) | (△846,167千円) |
| △1.2% | △514,867千円 |

○ 予算合計

295,536,168 千円

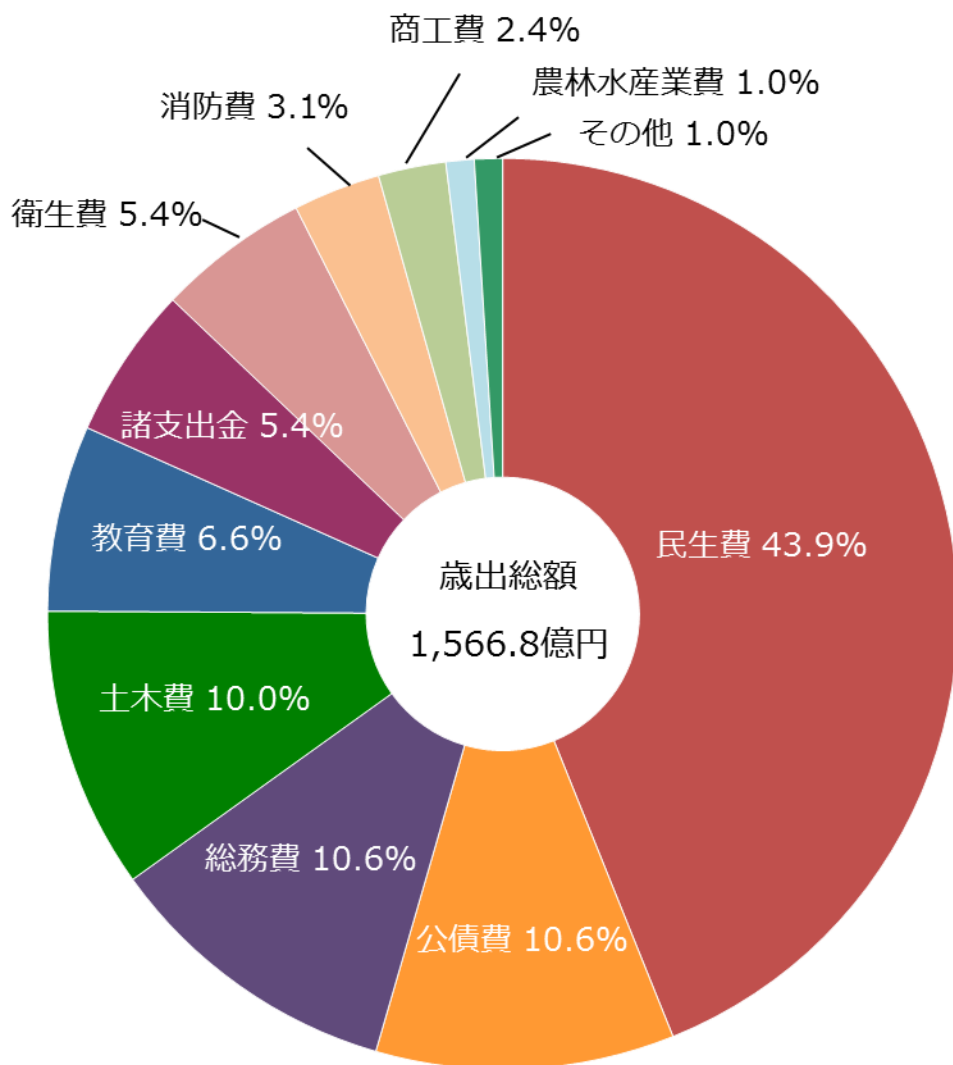
| 増減率 | 増減額 |
|---------|----------------|
| (+1.5%) | (+4,264,564千円) |
| +1.7% | +4,976,264千円 |

() 内は、借換えの対象となった元金償還金を除いた額です。

一般会計歳出の状況（目的別） ①

（１）款別予算額の構成比

（％）は前年度の割合



- 民生費の割合は 43.9% (44.2%)
- 公債費の割合は 10.6% (10.6%)
- 総務費の割合は 10.6% (8.4%)
- 土木費の割合は 10.0% (10.5%)
- 教育費の割合は 6.6% (7.4%)

- ◎ 割合が増加
総務費・農林水産業費
- ◎ 割合が減少
民生費・土木費・教育費など

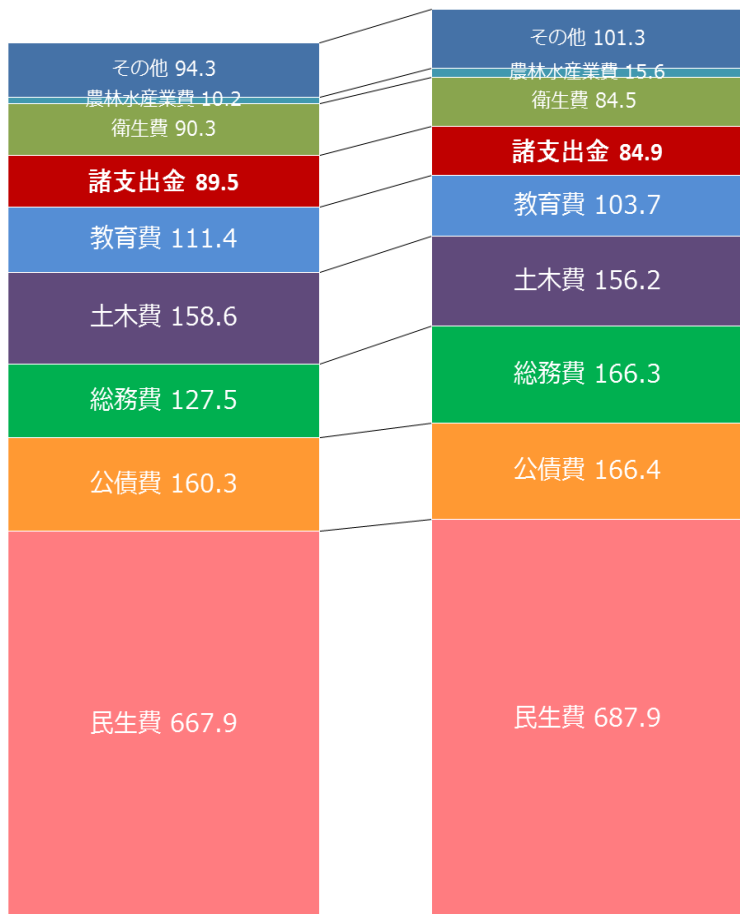
一般会計歳出の状況（目的別）②

（２）款別予算額の年度間増減

**前年比+56.8億円
(+3.8%)**

| | |
|------------------|------------------|
| 平成30年度 | 平成31年度 |
| 1,510.0億円 | 1,566.8億円 |

増



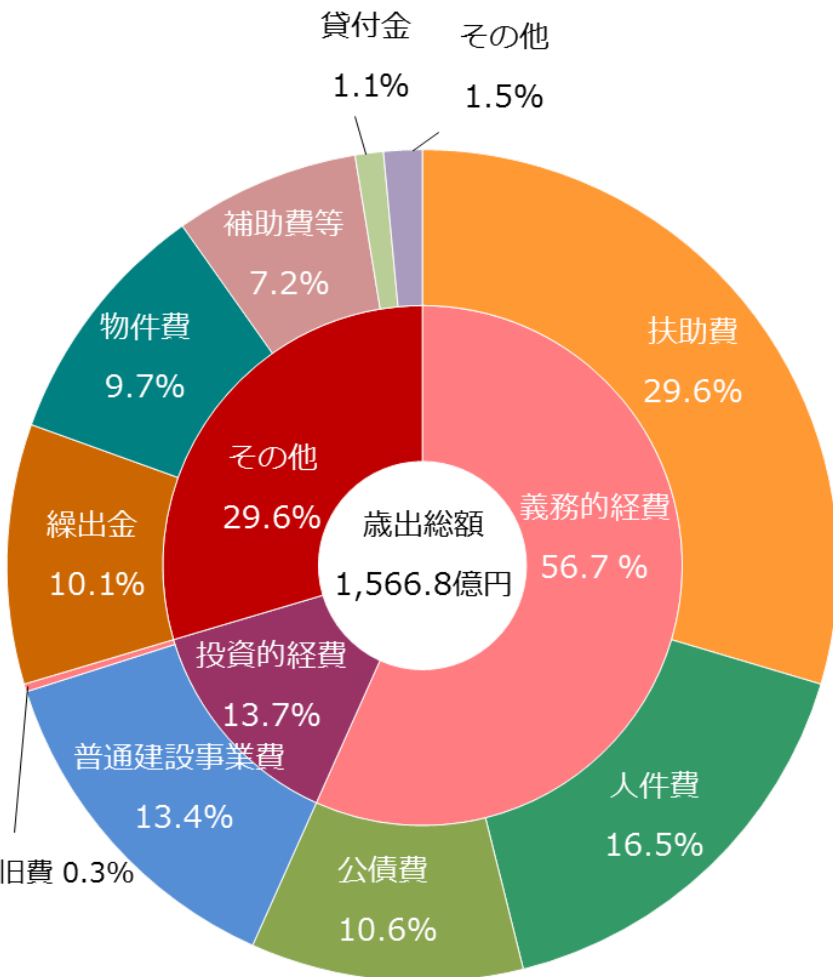
減

- ◆ **民生費 +20.0億円 (+3.0%)**
 - ・ 障害者福祉関連扶助費 +6.0億円
 - ・ 児童扶養手当費 +4.5億円
 - ・ 認定こども園整備費 +6.0億円
- ◆ **総務費 +38.8億円 (+30.4%)**
 - ・ 市民会館（仮称）市民文化交流センター整備費 +23.8億円
 - ・ つつじが丘テニスコート周辺整備費 +13.3億円
- ◆ **公債費 +6.1億円 (+3.8%)**
 - ・ 借換えによる一括償還分 +3.8億円
- ◆ **農林水産業費 +5.4億円 (+52.3%)**
 - ・ 四季の郷公園整備費 +4.7億円
- ◆ **教育費 △7.7億円 (△6.9%)**
 - ・ 青少年国際交流センター整備費 △12.6億円
 - ・ 就学援助交付金 +0.5億円
- ◆ **衛生費 △5.8億円 (△6.5%)**
 - ・ 第2工場解体費 △2.0億円
 - ・ （仮称）動物愛護センター整備 △2.1億円
- ◆ **諸支出金 △4.6億円 (△5.2%)**
 - ・ 公営企業会計に対する負担

一般会計歳出の状況（性質別） ①

（１）性質別予算額の構成比

（％）は前年度の割合



- 義務的経費の割合 56.7% (57.2%)
- 投資的経費の割合 13.7% (11.4%)
- その他の割合 29.6% (31.4%)

- ◎ 割合が増加
普通建設事業費・災害復旧費
- ◎ 割合が減少
繰出金など

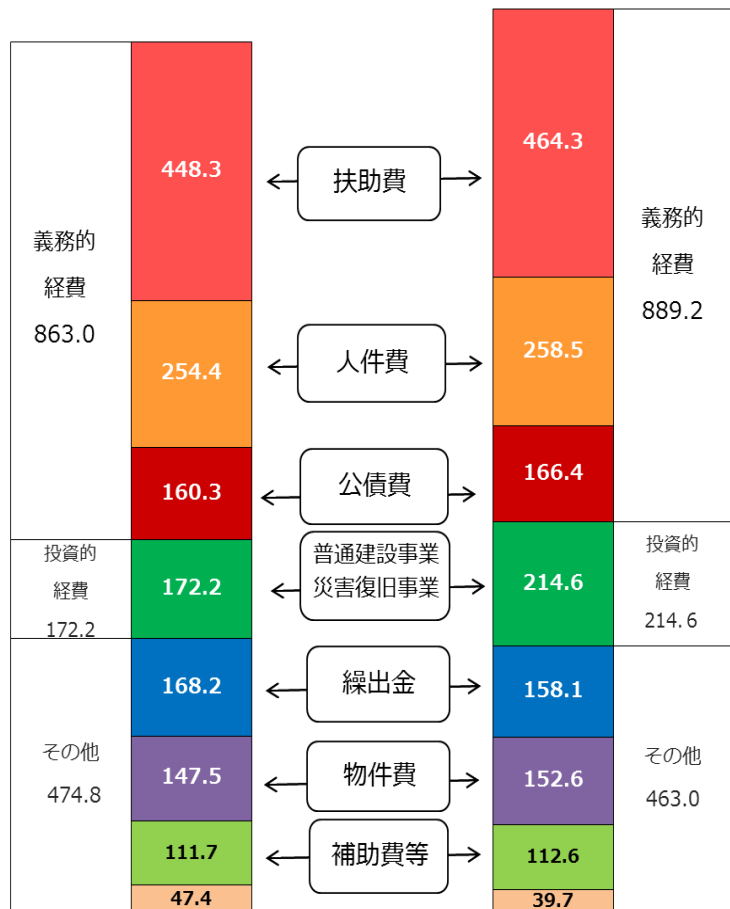
一般会計歳出の状況（性質別）②



（2）性質別予算額の年度間増減

**前年比+56.8億円
（+3.8%）**

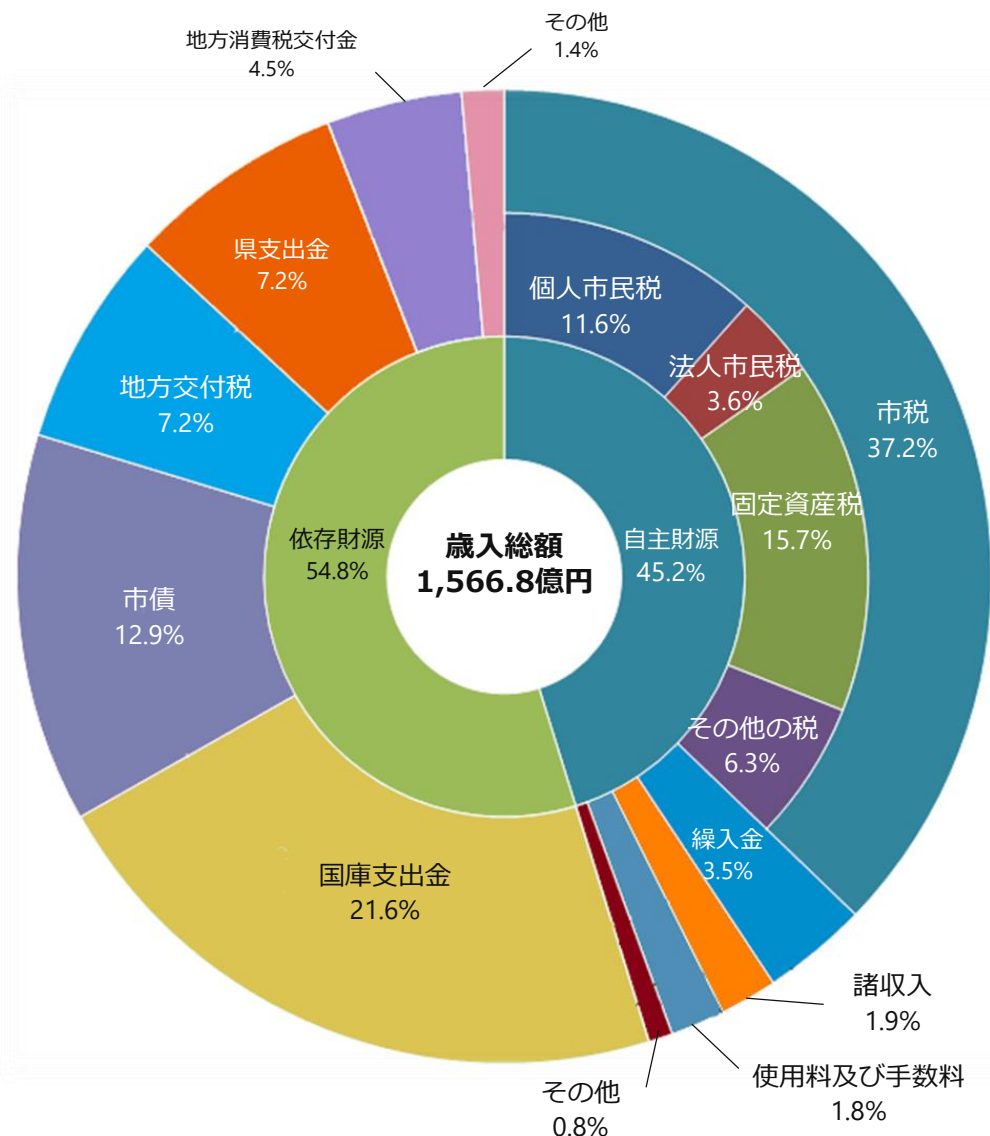
| | |
|------------------|------------------|
| 平成30年度 | 平成31年度 |
| 1,510.0億円 | 1,566.8億円 |



- ◆義務的経費 +26.2億円 (+3.0%)
 - ・扶助費 +16.0億円 (+3.6%)
 - 障害者福祉関連扶助費 +6.0億円
 - 児童扶養手当費 +4.5億円
 - 幼稚園就園奨励費 +1.6億円
 - ・人件費 +4.1億円 (+1.7%)
 - ・公債費 +6.1億円 (+3.8%)
 - 借換えによる一括償還分 +3.8億円
- ◆投資的経費 +42.4億円 (+24.6%)
 - ・子育て・教育・福祉施設整備 +23.3億円
 - 認定こども園、新市民図書館など
 - ・防災・減災対策事業（災害復旧含む）+4.4億円
 - ・その他基盤整備など +14.6億円
- ◆その他 Δ11.8億円 (Δ2.5%)
 - ・補助費等 +0.9億円 (+0.8%)
 - ねんりんピック交付金 +0.6億円
 - ・繰出金 Δ10.1億円 (Δ6.0%)
 - 国保Δ2.5億円 介護+1.6億円 後期高齢+1.6億円
 - 土地造成Δ6.0億円 街路事業Δ4.1億円

一般会計歳入の状況①

(1) 自主財源と依存財源の割合



(%) は前年度の割合

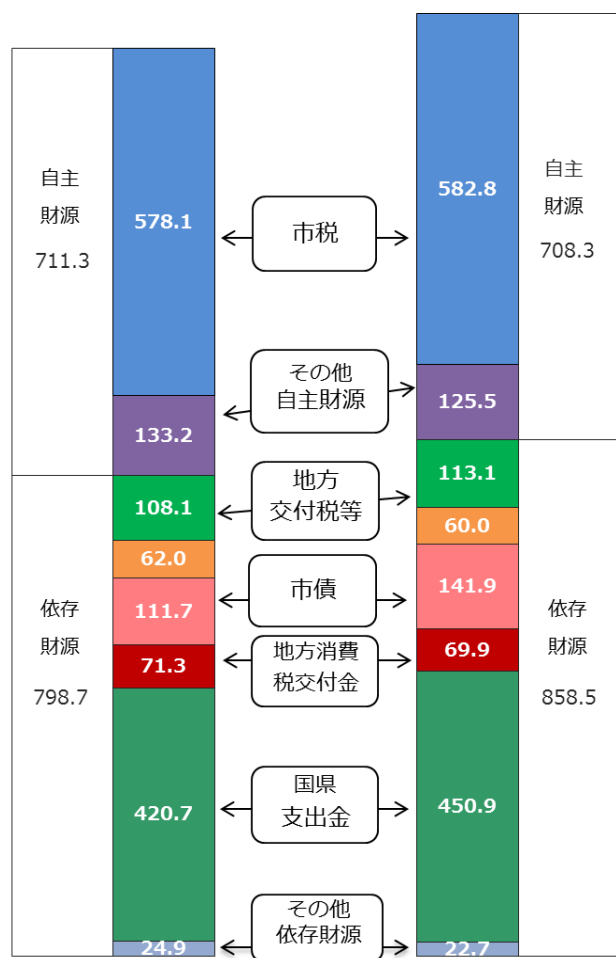
○ **自主財源 708.3億円**
構成比 45.2% (47.1%)

○ **依存財源 858.5億円**
構成比 54.8% (52.9%)

一般会計歳入の状況②

(2) 年度間増減

| | |
|------------------|------------------|
| 平成30年度 | 平成31年度 |
| 1,510.0億円 | 1,566.8億円 |



自主財源 $\Delta 3.0$ 億円 ($\Delta 0.4\%$)

- 市税 +4.7億円 (+0.8%)
 - ・法人市民税(所得割)の増等
- その他(繰入金等) $\Delta 7.7$ 億円 ($\Delta 5.8\%$)
 - ・財政調整基金繰入金 $\Delta 2.5$ 億円
 - ・未来のまちづくり基金繰入金 $\Delta 0.4$ 億円

依存財源 +59.8億円 (+7.5%)

- 地方交付税 +3.0億円 (+1.8%)
 - (臨時財政対策債を含む)
- 市債 +30.2億円 (+27.1%)
 - ・建設事業債の増(災害復旧含む) +19.3億円
 - ・借換債の増 +3.8億円
- 国県支出金 +30.2億円 (+7.2%)
 - ・市街地再開発 +11.4億円
 - ・施設型給付費 +7.6億円
 - ・障害者総合支援給付 +4.0億円
 - ・幼稚園就園奨励費 +1.9億円